



赤磐

令和7年6月議会 第82号

市議会だより



赤磐市議会ホームページ



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

ホームページ
では議会の情報
や、本会議、委
員会の中継を配
信しています。

赤磐市議会

検索

CONTENTS

4月臨時会のあらまし	2P
6月定例会のあらまし	3P
委員会のうごき	7P
15人の議員が一般質問	11P

【任期】
令和7年4月25日
令和11年4月16日

監査委員
治徳 義明
(山陽3丁目)



次のとおり同意・決定した。

赤磐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

問 国の法改正に基づいての改正と説明があつたが、国民健康保険税の金額設定について、赤磐市はどの程度裁量があるのか。
答 国に倣つて税条例の改正を行つてきた。市の裁量による設定は今のところ考えていない。



議案審議

4月臨時会を4月24日から4月25日まで2日間の会期で開催した。議長・副議長の選出、各常任委員会などの選任を行った。また、人事案件1件を同意、承認案件2件を承認した。

【任期】
令和7年5月19日
令和11年5月18日

選挙管理委員会委員
池本 耕治 (神田)
坂本 茂巳 (由津里)
播田 奈美子
(桜が丘東1丁目)
本庄 眞二 (黒本)

補充員
石原 亨 (中畑)
岩藤 正人 (西軽部)
土井 道夫 (釣井)
眞野 なぎさ (津崎)

令和7年4月第3回赤磐市議会臨時会審議結果

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
同意第2号	赤磐市監査委員の選任に関し同意を求めることについて	同意
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて 赤磐市税条例の一部を改正する条例	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて 赤磐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認

9月議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
		本会議 (議案上程)	本会議 (議案上程)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
	本会議 (一般質問)	休会 (予備日)	本会議 (質疑・委員会付託)	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	
9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
		決算審査特別委員会	休会 (予備日)	産業建設常任委員会	総務常任委員会	
9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
	厚生文教常任委員会		予算常任委員会	休会 (予備日)		
9/28	9/29	9/30				
		本会議 (委員長報告・質疑・ 討論・採決)				

※この日程は予定です。正式日程は、8月25日開催の議会運営委員会で決定します。

6月定例会の
あらまし

議案審議

6月定例会を6月5日から6月27日まで23日間の会期で開催した。
人事案件1件を同意、議案13件を可決、請願1件を採択、2件を不採択、1件を
趣旨採択とした。
また、議長発議の決議1件を可決した。

議第44号 赤磐市役所本庁舎等改修工事請負変更契約の締結について

問 変更後の金額が約4億円上乗せされている。追加工事が出たのなら新たに入札をするのではないか。設計段階の甘さも含め市の対応について説明を求める。

答 本件は契約変更で新たに入札したものではない。当初設計では非破壊状態で調査をした結果、経年劣化が想定以上に進んでいたことから、変更で対応した。

問 庁舎改修は引越などの費用を含めて約20億円と聞いているが、どのくらい追加が出ているのか。

答 当初、約20億円で説明していたが、物価高騰などはその限りではないということで、現在は約21億円となっている。

問 追加工事の増額分は正当なものなのか説明を求める。

答 設計、工事監理、施工の段階において、それぞれの立場で意見を出し合い、適正と判断している。

議第51号 赤磐市くまやまふれあいセンター条例の一部を改正する条例

問 くまやまふれあいセンターは熊山公民館が統合されることで、利用料を公民館の条例に準じた金額に設定したという認識でよいのか。また、公民館の条例の制約で利用しづらくなるのではないのか。

答 熊山公民館の解体に伴い、利用者が、くまやまふれあいセンターを使いやすくするため、利用料を公民館並みに改正するもので、利用目的は、これまで通りである。

問 くまやまふれあいセンターは、公民館と同じ利用制限があるのか、いきいき交流センターのように営利目的など、自由に使えるのか。

答 くまやまふれあいセンターは、公民館とは利用制限は異なるが、従来通り利用可能。ただし営利目的の利用は不可である。

次のとおり同意した。



副市長

是松 誠

（桜が丘西8丁目）
【任期】

令和7年6月6日
令和11年6月5日

請願

請願第3号 ガソリンスタンド併設型コストコ
の出店による、地域密着型商業施設ガソリン
スタンド経営に係る影響回避と地域密着型中小企
業に対する影響回避についての請願

【不採択】

【要旨】

ガソリンスタンド併設型コストコの出店となれば、地域密着型事業者が価格競争で廃業や倒産を余儀なくされることは容易に想像できる。農家や一般家庭への燃料配達や災害時の燃料供給など地域になくはならない業種であり、こういった不可欠な役割を果たす地元事業者が存続できるように十分に配慮した施策を実行できるよう議会として決議し、市長に対して申し入れる。

【賛成討論】

(2人)

▽行政の役割は市民生活の向上であり、コストコ出店でガソリンスタンドの経営が成り立たなくなると、山間部の高齢者にとって重要な燃料配達サービスが失われる可能性があり、市民生活を悪化させることになる。よって賛成する。

▽赤磐市が発行許可を取った区域に呼ぶ業者を選ぶのは市の意思である。市民の生活や経営に不安をもたらずコストコ誘致自体に問題がある。市民の悲痛な訴えを無視はできない。脅威や心配をする市民が一人でもいる限り認められない。よって賛成する。

【反対討論】

(2人)

▽コストコが来ることには賛成している。安いガソリンを給油したいと思うし、若い世代の期待もある。大手との競争を生き抜くための企業努力と、大手ができない事業の隙間を見つけて努力してほしい。コストコ進出を受け止めて前に進むしかない。共存のできる部分があると思う。よって反対する。

▽昨年12月議会でも同様の請願に反対をした。価格競争ではなく、サービス面や顧客との親密性など非価格競争力で対応すべき。賃金格差を理由にした排除は賃上げを進める動きに逆行する。不当販売は公正取引委員会が対応すべき問題である。行政が民間の問題に立ち入るべきではない。よって反対する。

請願第4号 事務事業評価結果のインターネットによる一般公開依頼に関する請願

【趣旨採択】

【要旨】

市民が政治参加をするため、まずは赤磐市の市政の状況、現状を市民が把握する必要があると思う。赤磐市で現在手掛けている事業の内容を市民が把握するために、各事業の詳細をインターネットで公開する必要がある。

【賛成討論】

(1人)

▽赤磐市が公開する事業評価結果が結果だけの内容で詳細が不明である。「事務事業評価シート」を市民へ公開してもらいたい。公開の理由の一つは国民主権と国民の政治参加の権利・責任を憲法

が定めていて市民が現状を知るために公開が必要。もう一つは、市政の改善と財源の有効活用のため、市民が事業内容をチェックする必要がある。市民がPDCAサイクルに参加し、議員が改善策を講じることを目指す。この請願の実現が憲法順守と市政向上の第一歩として不可欠だと考える。よって賛成する。

請願第5号 野良猫の不妊去勢手術の助成制度に関する請願

【採択】

【要旨】

赤磐市において、野良猫の過剰繁殖に起因する生活環境の悪化や動物愛護上の問題が深刻化している。近隣他市でも導入しているふるさと納税型クラウドファンディングを活用した「野良猫の不妊去勢手術助成制度」を導入されることを要望する。

【賛成討論】

(2人)

▽人間社会と関わる野良猫の問題解決のため、不妊去勢手術は必要である。ボランティアの活動により市民の生活環境が悪化することがないなどの効果があり有意義な活動をしている。現在、費用の負担をボランティアが賄っているのは申し訳ない。不妊去勢手術等の費用をふるさと納税型クラウドファンディングで確保するべきと思う。対象が地域に定着した野良猫集団に限定して、慎重に判断し確認を行うことで、飼い猫を誤って捕獲してしまうことがなく、捕獲による市の責任発生もないなど、懸念事項に問題はない。よって賛成する。

▽岡山県内の多くの自治体が野良猫の不妊去勢手

令和7年6月第4回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	横山裕太	行本大輔	田村 勝	中田浩二	杉野千秋	安藤利博	永徳省二	佐藤 武	佐々木雄司	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	実盛祥五	佐藤武文
請願第3号	ガソリンスタンド併設型コストコの出店による、地域密着型商業施設ガソリンスタンド経営に係る影響回避と地域密着型中小企業に対する影響回避についての請願	不採択	○	○	●	○	○	●	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●	●	—
請願第4号	事務事業評価結果のインターネットによる一般公開依頼に関する請願	趣旨採択	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	○	—
請願第5号	野良猫の不妊去勢手術助成制度に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	●	○	—
請願第6号	ジェノサイド条約の批准を日本政府に求める請願	不採択	○	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	—

○＝賛成 ●＝不賛成

※佐藤武文議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

趣旨採択…採択には至らないものの趣旨には賛同できること。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
同意第3号	赤磐市副市長の選任に関し同意を求めることについて	同意
議第44号	赤磐市役所本庁舎等改修工事請負変更契約の締結について	可決
議第45号	赤磐市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例	可決
議第46号	赤磐市熊山総合センター条例	可決
議第47号	赤磐市防災行政無線条例の一部を改正する条例	可決
議第48号	赤磐市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第49号	赤磐市学校給食費徴収条例	可決
議第50号	赤磐市立公民館条例の一部を改正する条例	可決
議第51号	赤磐市くまやまふれあいセンター条例の一部を改正する条例	可決
議第52号	赤磐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第53号	赤磐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第54号	赤磐市国民健康保険熊山保健福祉総合センター条例を廃止する条例	可決
議第55号	令和7年度赤磐市一般会計補正予算（第1号）	可決
議第56号	令和7年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
発議第3号	まちづくり調査特別委員会の設置について	可決

令和7年度補正予算（一般会計・特別会計）
11億4419万円の増額補正を可決

予算
常任委員会

6月23日に予算常任
委員会を行った。議案
2件について審査した。

一般会計（11億4235万円増額）（第1号）

主要内容（歳出）

- ・保育園運営事業（4億1127万円増額）
- ・道路改良事業（1億212万円増額）
- ・防災行政無線管理事業（8999万円増額）
- ・桜が丘いきいき交流センター運営管理事業（7705万円増額）
- ・小規模ため池補強事業費（6350万円増額）
- ・その他体育施設管理費（5371万円増額）等

国民健康保険特別会計（184万円増額）（第1号）

固定資産税を8千万
円増額

問 固定資産税8千万
円増額はどのようにと
らえているか。

答 法人の設備投資の
増額によるものである。

企画関係事業に48万
円増額

問 市制20周年記念関
連事業について、具体
的な説明を。

答 既存の新聞記事、
写真等をパネルにして
展示する。式典につい
ては中央公民館の完成
に合わせるが、具体的
な日程は調整する。

自治体DX推進事業
等に1790万円増
額

問 窓口のセルフサ
ービス機はどのようなも
のか。

答 セミセルフレジは
キャッシュレス決済が
できるレジの購入、多

言語翻訳サービス機は
聴覚障害者・高齢者・
外国人への対応ができ
るものである。

保育園運営事業に4
億1127万円増額

問 私立保育園がこど
も園へ移行するにあた
り全面改築ということ
だが、市内のどの保育
園なのか。

答 桜が丘東6丁目に
あるさくらが丘保育園。

問 さくらが丘保育園
のすぐ隣に幼稚園があ
るが、問題はないのか。
また、幼稚園部と保育
園部の定員は。

答 隣に幼稚園がある
が、法人もいろいろ気
を配っている。現在、
保育園に入れない人
で、例えば就労の時間
が短くこども園の幼稚
園部にニーズがある。
このようなニーズに対
して、現在の定員は保
育園140人である
が、こども園は幼稚園
部15人、保育園部5人

を増やして、合計16
0人となる。



さくらが丘保育園

健康増進事業に60万
円増額

問 アピアランスケア
助成金はがん患者の脱
毛や乳がん手術後のこ
とだと思いが、具体的
にどのような補助をす
るのか。

答 がん患者が治療す
る上で、髪の毛が抜け
たり、乳房の切除をし
た場合、かつらや補正
具の購入に対する助成
である。購入金額の2
分の1、上限3万円で
助成したいと考えてい
る。

社会福祉協議会補助
事業に899万円増
額

問 山陽老人福祉セン
ター（山陽足王の湯）
のポンプ交換の費用が
上がっているが、何年
ごとの交換なのか。

答 泉源ポンプについ
ては、4年に一度の交
換のサイクルで運用し
ている。



山陽老人福祉センター（山陽足王の湯）

環境衛生対策事業に
999万円増額

問 公共施設太陽光発
電設備の導入調査業務
ということか。具体的
にどここの場所の設備な
のか。

委員会のうごき

答 赤磐市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）で掲げる公共施設への太陽光発電設備の導入を積極的に推進するため、環境省の交付金を活用して導入の可能性を調査する。市全体で約180施設があり、このうち設置効果の見込める56施設を選定して、設置検討、調査を行う。

学校給食センター一般管理事業に252万円増額

小中学校の2学期、3学期給食費無償化に伴い、市立校以外の生徒児童に係る補助金

問 市内の小中学校以外に通っている人には、どのように告知して、補助するのか。

答 市内の市立学校に通っている子供は把握しているのですが、それ以外の子供に通知をし申請してもらう。学校によって食数や単価が違

うが、赤磐市の給食の補助金の単価を適用する規則にしている。小学生が300円、中学生が340円、月に18食、2学期以降で7カ月という積算になる。

学校施設改修事業に500万円増額

問 小中学校、幼稚園も含めてLED化という対応だと思うが、全部LED化にすれば、どのくらいの財源が必要か予測しているのか。

答 事業費の算定はこれからで、積算と合わせて、どのような手法にするか検討する。

小規模ため池補助事業費に6350万円増額

問 地元負担はどれぐらいなのか。

答 測量試験費と工事請負費の地元負担額が事業費の2・5%である。

施設管理運営費に916万円増額

問 旧赤坂天然ライスの売却の状況は。排水処理施設を解体して大丈夫なのか。

答 旧赤坂天然ライスの売却については、昨年度公募を2回行ったが、予定者がなかった。今年度も引き続き、売却について周知をして進めている。排水処理施設は現在使われていないため、解体及び解体後の舗装復旧を予定している。

問 旧赤坂天然ライスの購入希望者がいたとして、排水処理施設が使用できなくても支障はないのか。

答 支障はない。



旧赤坂天然ライス

観光振興対策事業費に69万円増額

問 お笑い赤坂亭30周年の記念行事について、どのようなことを計画しているのか詳細説明を。

答 雷門喜助師匠、若手落語家の落語を検討している。詳細は、関係部署と協議を進める。

問 喜助師匠に30周年を記念して広報大使に就任してもらう検討はしなかったのか。現時点で広報大使に就任していないのはどういう理由なのか。



お笑い赤坂亭

答 広報大使についてのいきさつは、資料がなく分からない。喜助師匠の意向にも寄り添いながら事業を進めていきたい。

問 お笑い赤坂亭の将来をどのように思っているのか。

答 まずは、お笑い赤坂亭30周年イベントを行い、その後は引き続き、師匠の意向も聞きながら協議を進めていきたい。



橋名板の盗難

道路維持管理事業に3977万円増額

問 橋名板の盗難被害は何力所あったのか。

答 橋の数は9橋で、盗難に遭った枚数は35枚。これについて復旧する予定。

問 警察への対応状況は。

答 警察には被害届を提出している。その後、特に目立った報告等はない。

総務 常任委員会

6月18日に総務常任委員会を行った。議案5件、請願2件について審査した。

例 赤磐市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

問 県内他市の状況は。14消防本部中5消防本部が改正している。内容は若干異なる部分もあるが、赤磐市は総務省の通知に従った改正としている。

答 赤磐市役所本庁舎等改修工事請負変更契約の締結について

問 この変更で増額は最終なのか。

答 最終という見解で事業を進めている。

問 変更契約の詳細説明を。

答 中央公民館外壁改修に1億円、屋上の防水改修に2700万円、埋設物撤去処分に3400万円、消防設備改修に2500万円、緞帳等の設置に4千万円、排煙トラップに890万円、内装工事の変更に1500万円、電気設備に1500万円、物価変動に3800万円、その他少額の物を合わせ9708万円、合計で3億9988万円である。



中央公民館

答 赤磐市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例

問 熊山支所について

は一段落だと思うが、今後の赤坂、吉井支所の在り方についての進捗状況は。

答 区長会の役員会へ相談し、「各地域で声を聴いてほしい」と言われている。地域の振興策と併せ支所の在り方を検討したい。



熊山支所

答 事務事業評価結果のインターネットによる一般公開依頼に関する請願

主な意見

- ・今後より良いものにしていくという意味での研究をすればよいので、趣旨採択すべき。
- ・ホームページでの公開もしておりゼロではないので、趣旨採択すべき。

- ・個別に出せるものは出した方がいいので、採択すべき。
- ・財源が豊かになればやってもらえばいいので、不採択すべき。
- ・今の事務事業評価を改善する余地はあるという意味で、賛成反対というより趣旨採択すべき。

答 ジェノサイド条約の批准を日本政府に求める請願

主な意見

- ・この請願に反対する理由がなく、この通りだと思うので、採択すべき。
- ・人の命は大事なので、採択すべき。
- ・人は人を殺してはいけないということに關しては同意するので、趣旨採択すべき。
- ・最近ではニュースでこの問題がたくさん出てきており、採択すべき。
- ・内容的には同意できるが、まだまだ日本国内の法律が伴っておらず、そちらを早く進めてもらいたいという思いも込めて、趣旨採択すべき。

問 減免について、福祉的なサービスを受けている人に対して、この条例の中でどのような位置付けになるのか。

答 減免は無償化、第3子補助などを指す。福祉サービスは別途、保護者へ直接払われ、そこから給食費をもらう、もらわないという話になるので、条例には入っていない。

厚生文教 常任委員会

6月16日に厚生文教常任委員会を行った。議案6件、請願1件について審査した。

例 赤磐市学校給食費徴収条例

問 減免について、福祉的なサービスを受けている人に対して、この条例の中でどのような位置付けになるのか。

赤磐市立公民館条例の一部を改正する条例

問 熊山公民館の場所が松木623番地から松木621番地1になるが、どこになるのか。また使用料金はどのように変わっているのか。

答 場所に関してはくまやまふれあいセンターに変わる。使用料金については、熊山公民館の使用料金をくまやまふれあいセンターに反映している。

赤磐市くまやまふれあいセンター条例の一部を改正する条例

問 くまやまふれあいセンターと熊山保健福祉総合センターの2つで、今までの公民館活動のスペースと比較するとどのくらい違いがあるのか。

答 熊山公民館は大集会室、会議室、和室、調理室で構成されている。

た。くまやまふれあいセンターは会議室が2つ、多目的ホールが1つ。熊山保健福祉総合センターは2階に会議室が3つ、調理実習室が1つ。会議室の数としては増えている。



くまやまふれあいセンター

野良猫の不妊去勢手術助成制度に関する請願

主な意見

- ・不妊去勢をして家の中で飼うのが原則。
- ・野良猫をさくらカットせず、に放置している方が虐待になると思うので賛成する。
- ・愛護団体の人が野良猫だろうと勘違いを

して連れて行き、帰ってきたときにはメスを入れられていて、子供を望んでいる飼い主であればその思いが傷つけられる。外に出ていたら野良猫とみなしてしまうような考え方で市に

対して助成だとか、議会に對して市に何かしら物申せということについて反対する。家で飼っていて不意に出ていくことがある。捕獲の方法は慎重に考えてもらおうということに賛成する。

産業建設常任委員会

6月17日に産業建設常任委員会を行った。請願1件について審査した。

ガソリンスタンド併設型コストコの出店による、地域密着型商業施設ガソリンスタンド経営に係る影響回避と地域密着型中小企業に対する影響回避についての請願

主な意見

- ・旧来地区のガソリンスタンドは、地域に密着したものであり、高齢化が進む中で、ガソリンスタンドまで行くことができないときには、我々の手元まで灯油などを運んでくれる。地域のガソリンスタンドは、なくてはならないと思うので、賛成する。
- ・コストコが来ることによって、他のガソリンスタンドの経営が成り立たないような状況になれば、今まで受けられていたサービスが受けられなくなってしまう。
- ・前市長がトップセー

ルスでコストコを誘致したのであれば、市民の生活が悪くならないようにするのが市の責任だと思うので、賛成する。

・コストコやナカシマが赤磐市に進出予定であるということ、新拠点整備事業が進めばよいと思うが、現在、事業費もストップがかかっているような状況で、コストコの進出についてはまだ具体的な判断がなされていない。今しばらくその状況を見るために、継続審査としたい。

・地域のガソリンスタンドをやられている人も、営業努力をして現状を変えるようにしないといけない、という考え方を私は持っているが、コストコの進出が正式に決まっていな

い。他のコストコへ視察に行き、小売業者の人にどんな影響が出ているか確認もできると思うので、継続審査としたい。

・今回の請願は、審査がまだ十分になされていない中で、今の段階で決めてしまうのは早いかなと感じている部分もあるが、地域の商業を守ることは非常に重要なことだと考えている。そして地域に根づいたガソリンスタンドだからこそ、コミュニケーションの場の一つとしても必要だと思うので、賛成する。



市民の生活を支える灯油配達

一般質問

市の考えを問う



15人の議員が登壇し市の考えをたきました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
横山 裕太 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食について ・有機農業について ・財政調整基金の在り方について ・有害鳥獣捕獲後の処理について 	大口 浩志 16ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援について ・公共交通について ・インフラについて ・電話交換について ・農業支援について
光成 良充 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの赤磐市について ・赤磐市のイベントについて 	治徳 義明 17ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル誘致について ・農業振興について ・山陽団地の活性化について ・防災・減災対策について
安藤 利博 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・赤磐市の課題 ・新拠点整備方針 ・公有地の管理 	金谷 文則 17ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・赤磐市の農業政策について ・「子育てするなら赤磐市」について ・専門学校の誘致について
永徳 省二 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・所信表明について ・何もないまち赤磐市について ・道路の陥没について ・コストコの誘致について 	中田 浩二 18ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の地域振興への基本姿勢について ・地域交通・移動手段の確保について ・農地と地域資源の活用について
松田 勲 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・新拠点整備や桜が丘中央周辺の進捗状況について ・県立普通科高校の学区制の見直しについて ・高校生の通学費の支援について 	原田 素代 18ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント審査会の結果について ・赤磐市の暮らしやすさは
佐々木雄司 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・赤磐市独自に手掛ける物価高騰対策について尋ねる ・地域間格差の是正について着手状況を尋ねる 	保田 守 19ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・山陽団地内のバス停などの施設について ・団地内の個人所有の庭木について ・高齢者の熱中症予防対策として
杉野 千秋 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化について ・高倉山の整備について ・山陽団地、桜が丘ショッピング跡地の活用について 	<div> <p>表紙の一言</p> <p>着衣水泳で「水辺の安全」を学ぶ</p> <p>7月9日に赤磐市立城南小学校にて、吉井B & G海洋センターの協力のもと「水辺の安全教室」が開催されました。講師にはライフセーバーの木原珠子さんを迎え、水の事故から命を守る方法を学びました。</p> <p>「初めてライフジャケットを着たので浮けるか心配だったけど、浮けてよかった」「命を守るためにライフジャケットが大切だとわかった。股のひもを正しくつけて使いたい」など、児童からの声が上がっていました。</p> </div>	
田村 勝 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・熊山支所、公民館の再編計画の市民への連絡の仕方 ・赤磐市花火大会について ・農業問題で田原用水路の運用について ・勢力地内吉井川堤防道路の草刈りについて ・子育て支援について 		
佐藤 武 16ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・新拠点整備事業について ・ふるさと納税にかかわるチラシについて ・桜が丘地区の公共サービス充実について 		



横山裕太議員

学校給食について



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 前田市長の政策に、質の高い学校給食という記載があるが、「質の高い」についての詳細を教えてください。

答 栄養バランスがよく、安全でおいしくて、地域食材を活用した給食のこと。赤磐市独自の特色ある給食も研究していきたい。

問 具体策や事例を複数紹介した、ミネラルオーガニック給食を導入できないか。

答 研究していきたい。

有機農業について

問 前田市長の政策に、有機農業を広げるとの記載があるが、どのような計画で進めるのか。

答 まずは環境を整える必要がある。引き続き研究を重ねていきたい。

い。

問 オーガニックビレッジ宣言、標高の高い耕作放棄地を有機農業の特化、自然栽培の朝日米の推進を提案するが、導入できないか。

答 研究していきたい。

財政調整基金の在り方について

問 令和5年度の財政調整基金が約62億円と記載されている。こちらの最新の金額と、在り方を教えてください。

答 令和7年度当初予算編成時で約45億円。財政調整基金は、柔軟で安定的な行政のための重要な財源である。

問 必要最低限を確保し、残った分は有効に使えないか。

答 明確な目標値はないが、一般会計総額の2割程度が多い。

有害鳥獣捕獲後の処理について

問 有害鳥獣を捕獲した後の食肉への処理施設を設立してほしい。

答 財源や用地などの課題があるため、実現可能な対策について検討を進めたい。



おかやま有機無農薬農産物の認証マーク

問 赤磐市制20周年のお祝いはどうのように考えているのか。

答 今年3月7日に20周年を迎えて、この歴史をつないでいくことが重要だと考えている。

問 市庁舎、中央公民館の改修工事の完成と併せて20周年のお祝いのイベント、記念式典を行う考えはあるか。

答 今年度は一年を通じてお祝いの年とし、記念式典は、中央公民館の改修工事完成後に「こけら落とし」と併せて実施して、多くの市民の皆様と一緒に祝いたいと考えている。

赤磐市のイベント

問 コロナ禍で中止となったあかいわ祭りなどのイベントは今後も行わない方針なのか。



光成良充議員

市制20周年を市民の皆様とお祝いをしたい



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

答 市民がワクワクして積極的に参加できるイベントの規模、内容、開催時期、場所、運営体制、ターゲット層の見直しを検討中で早急に結論を出したい。

これからの赤磐市

問 所信表明で述べた区長、町内会長、市民との意見交換は具体的にどのようなものか。

答 区長会、連合町内会を中心に意見を聞き、市民も参加できる機会を設け、広聴広報的な取り組みとして6地域を中心に実施する。

問 河本・岩田地区の新拠点整備事業は、予算執行が保留となった。説明不足が原因とされているが解除に向けてどう進めるのか。

答 執行保留の解除を最優先で進める必要があると考えている。その原因は議員への説明が不十分で質問事項に答えられなかったためで、何が説明不足か明確にして正しく説明し前に進めていく。デベロッパーについても、まず常任委員会にしっかりと説明をする。



完成が待たれる中央公民館



安藤利博議員

人口が2割減少する 将来の赤磐市の課題は



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 人口減少は人類史上初めての出来事。人口減少社会にどう対応するのか。

答 人口推移を市民にも知ってもらい、課題の共有を図り、人口減少が避けられない中で持続的発展を考える。

問 赤磐市は文化政策が遅れている。ホールを備えた市民会館で合併25周年、30周年記念式典を行わないのか。

答 市民会館の必要性はあると思っている。財政負担や総合的な判断が必要で、真剣に考えていきたい。

新拠点整備方針

問 新拠点内の道路は市が取得するのか。

答 土地利用等に資する幹線道路であるため、開発者が施工し、

用地費は市の負担とする。

問 バスが県道からターミナルにわざわざ寄る必要はなく、道の駅は最低でも駐車場と休憩所があればよい。公共ゾーンの位置づけは。

答 新拠点の整備全体の構想を踏まえ、公共ゾーンはどうあるべきか検討する必要があると思っている。

問 民間ゾーンの土地取得造成は今の進め方で問題なくできるのか。

答 財政負担とリスク軽減等の観点から、民間活力を最大限に引き出し企業立地を実現する手法を選択している。

公有地の管理

問 桜が丘のため池周辺の保健保安林を整備

しないのか。

答 保安林は市の管理となっており、予算の範囲内で優先度の高いものから順次伐採等を行っている。

問 相続放棄地に金属廃棄物が積み上げられている。管理手前は決められているのか。

答 管理不全状態の所有者不明土地については、状況により最適な措置を検討していく。



赤磐市の人口推移推計 (社人研)



永徳省二議員

何も無いまち赤磐市 について



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 県立・公立高校、最終処分場、市民ホール、火葬場、公共墓地、市民病院、郵便局の本局、警察署、税務署。

なぜか赤磐市には何ひとつこれら9つの施設がない。市長が施設重要度に優先順位をつけるとすれば。今後、市長として働く4年間でこの重要施設をどのようにするのか。

答 設置目的、役割、機能、利用者の範囲等が異なっており、優先順位を一概に判断するのは困難。今後も機会を捉え、市にとって必要な施設であるという思いを粘り強く伝える。

問 優先順位をつけられないのは前の市長と同じ。世の中のリーダーと呼ばれる人たちは必ず優先順位をつける。

会社の社長、赤磐市以外の自治体の首長は必ず優先順位をつける。

例えば、赤磐市の最終的なごみ。これは兵庫県を越えて大阪府を越えて、わざわざ奈良県まで捨てに行っている。市内に最終処分場がないからだ。これに関して、市長はどのように考えるのか。

答 早く施設の整備を進めていく必要があると思う。今までの現状をもう一度精査して、考えていく必要がある。

問 それを優先順位と云うのだ。赤磐市には市内に県立高校、公立高校がない。岡山県下だけではなく、中国地方、四国地方、近畿2府4県、どこへ行っても必ず市内に県立・府立高校がある。赤磐市

の子供たちだけが取り残されている。国民の三大義務・権利の一つであり、義務教育に等しい高等学校教育を赤磐市の子供たちは市内で受けることができない。

答 県はもとより国、大臣の話もあった。私も阿部文部科学大臣にお会いして学校環境整備を特にお願したい。また、高校誘致の要望書を提出したい。



岡山市内の瀬戸高校



松田 勲議員

新拠点整備事業や 桜が丘中央周辺の進捗は



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 新拠点整備事業を積極的に進めてきた前市長から代わり、どのようにしていくのか。

桜が丘中央ショッピング跡地は、昨年度権者が一本化された。今後の計画について、市民は大きな期待をしている。どのように進めていくのか。

答 開発者、コストコ、ナカシマホールディングスの3社とも会った。進出について前向きに検討してもらっていることは間違いない。私はぜひとも皆さんと一緒に進めたいと伝えている。

桜が丘中央ショッピング跡地については、大きなプロジェクトであり、推進体制や方針を社内慎重に検討していると聞いている。

所有者の意向を把握することが最優先になるが、民間の創意工夫、官民の相互補完による効率的で効果的な整備を提案し、協力を求めていく。

県立普通科高校の学区制の見直しを

問 子供たちの選択肢を広げるために普通科高校の学区制の廃止、緩和の実現に向けて積極的な行動を取っていくべきではないか。

答 5%枠の撤廃、学区制の見直しを県議会議員や関係者としてしっかり連携し、チームとなり県教育委員会に強く訴えていく。どのような方法が良いのか、教育長と行動を共にしたい。

所有者の意向を把握することが最優先になるが、民間の創意工夫、官民の相互補完による効率的で効果的な整備を提案し、協力を求めていく。



新拠点整備計画地域

全高生に通学費の支援をすべきでは

問 通学費の支援は、吉井・赤坂地域では過疎債を財源に行っている。全高生を対象とし、平等に支援すべきと考えるがどうか。

答 今年度、通学の実態把握等を行い、全高生が対象になるよう検討していく。

現在、原油や食料品などの価格の高騰が続き、市民の生活を直撃している。物価上昇に賃上げが追いつかず、実質賃金が低下している状況の中、物価高騰による購買力の低下は市民の生活を圧迫させ、さらなる地域経済に影響を与えることが懸念されると考えている。

問 実質賃金は下がり、年金も大きく増えない中、住民からはこの物価高騰の中で生活が苦しくなった、生活に不安を感じるなど、多数の声が上がっている。物価高騰対策は、国政によるものが大きい。住民生活をあずかる地方自治体にも対策の責任があるのではないか。

答 現在、原油や食料品などの価格の高騰が続き、市民の生活を直撃している。物価上昇に賃上げが追いつかず、実質賃金が低下している状況の中、物価高騰による購買力の低下は市民の生活を圧迫させ、さらなる地域経済に影響を与えることが懸念されると考えている。

問 現在、赤磐市の人口は減っている。その大きな理由の一つに市独自の施策で生活充実を目指して行く必要があるのではないか。固定資産税・住民税の裁量は赤磐市にある。減税を行い、税負担を軽くすることで家庭で使えるお金を増やし、物価高騰対策にしてはどうか。

答 令和7年度当初予算では住民税は20億円、固定資産税は24億円で、自主財源の約6割を占める貴重な財源だ。物価高騰に対して、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源として、定額減税や給付金などの施策が講じられている。そのため市独自に住民税や固定資産税を減額することは考えていない。



店頭に並ぶ生活商品

赤磐市独自の物価高騰対策が必要ではないか



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

ことは考えていない。このことから、減額するとなった場合、どのくらいまで減税できるかについて、現状は想定をしていない。

ことは考えていない。このことから、減額するとなった場合、どのくらいまで減税できるかについて、現状は想定をしていない。



杉野千秋議員

文化遺産・観光ルートの活性化を



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

給食費の無償化について

問 無償化は小中学校だけでなく、幼稚園、保育園、認定こども園なども実施する考えはあるのか。その場合の予算は。

答 小中学校を対象に2学期以降も継続する補正予算を提出している。幼稚園、保育園、認定こども園を加えると、市の予算だけでは困難なため、国に対し、強く要望している。

高倉山の整備について

問 高倉山をはじめ、赤磐市の文化遺産、観光ルートの多くが放置状態である。総社市は地域と文化遺産、観光ルートを守るチームを結成し、遺跡巡りや整

備を行っている。赤磐市も埋もれている文化遺産や観光ルートを活性化すべきでは。

答 赤磐市にはたくさん歴史文化の薫る地がある。財政の面が出てくるが、一つ一つ整理し、地域のよさを盛り上げていく。市民の皆さんからも一緒に愛して一緒に取り組んでもらえる雰囲気をつくっていくよう努めたい。有意義な地域活性化、市外に向けて観光案内、観光ルートができるよう、職員と一緒に考えていきたい。

山陽団地・桜が丘のショッピング跡地の活性化について

問 市で土地を買い取ることができないのであれば、地域の皆さん

の意見を聞き、最優先で取り組むべきで、先ほどの観光ルートを通る人々も見ている。

答 山陽団地・桜が丘のショッピング跡地については、どちらとも所有者がいるが、地域の将来像、市民ニーズなど、さまざまな声を聞きながら取り組みを推進していく。



高倉山のトイレ

問 赤磐市花火大会を地域活性化のためにも早期に実施するべきだ。

答 現在、検討中ではあるが、財政的な負担、安全性の問題など再度精査し、慎重に考えていきたい。イベントについては、いつとは明言できないが、開催の方向で検討はしたい。

問 熊山支所、公民館の再編計画の市民への連絡の仕方が不十分と感じるが。

答 指摘の通り、住民周知が不十分であったこと、まずはお断りしたい。

説明会を開催し、地域の人の意見を聞いた。引き続き市民の利用しやすい周辺施設整備を進める。

問 農業問題で田原用水路の運用について、



田村 勝議員

赤磐市を元気に。花火大会実施を早期に願う



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

昨今の異常気象により収量も著しく減少。通水日および通水方法の見直しをするべきである。

答 通水期間の話は会合においても毎回議論されている。社会情勢や気候変動の影響も踏まえて見直しも必要。水利権、かんがい用水について意見を聞きながら田原用水管理組合より、しっかり上部組織に声を伝えることが重要だと思う。

問 勢力地内吉井川堤防道路の草刈りを県に

対して要望するべき。

答 堤防の保全を考慮し災害を未然に防ぐ観



赤磐市花火大会

点からも県に草刈り実施をしっかりと要望する。

問 子育て支援について赤磐市は近隣の市町村よりも支援が少ない。また、子供の遊び場、保護者たちが集まる場所を作るべきである。

答 赤磐市内の子育て世帯の皆さんにとって最も必要とされ、効果的と考えられる支援について引き続き検討する。幅広い視点を持って、年齢に応じた遊び場等の整備を考えていく。



佐藤 武議員

3月の市長選挙時にまかれた チラシについて



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 公職である議員として市民への情報提供は公平・公正のもと、その責任は非常に大きいものがある。現職議員が作成したチラシの中で、ふるさと納税に関わる米価格の比較に関して、農協と桃茂実苑の買上価格が列挙されているが、農協は玄米価格であり、精算金は含まれていない。一方、桃茂実苑は精米代や販売袋代、その他人件費等を含めた小売価格であり、比較の対象が適切ではなく、市民に誤解を与える。令和3年12月議会でも「適切な比較がされていないかったんじゃないか」ということを申し添えさせていただけますか。

また、当時の状況について「蜂の巣をつついた騒ぎ」という表現があるが事実か。

答 経費については郵送料あるいは精米等の金額が入っているの差額が出るのは当然である。市民に誤解を与えるかどうかについては答弁を控える。

副市長 当時、他の部長とともに比較内容の確認のため議員の席に動いた記憶はある。

問 公職選挙法の虚偽事項公表罪の規定は、当選させない目的で虚偽の事項を公にした人、または事実を歪めて公にした人は拘禁刑または罰金に処せられるとの規定である。

問 桜が丘地域には市民全体の40%以上が住み、行政サービス享受はいきいき交流セン

ターのみである。図書館・公民館の複合施設を整備し、生涯教育や読書環境の充実を図るべきである。

答 複合施設整備には財政負担が必要である。住民ニーズを聞き、既存施設の充実を検討していく。教育委員会としてもいろいろ進めていく必要があると認識している。

生活支援について
問 例えば、ごみ出し支援はどうなっているか。

答 課題として認識している。内部で協議し、実現可能なように努力していく。

公共交通について
問 旧町単位での運用を、生活圏での運用にできないか。

答 市民のニーズに応えてできるよう、検討する。

生活支援について
問 高校生ハレカハーフの導入はできないか。

答 高校生の通学手段の確保、通学支援は大変重要である。今後研究していく。

インフラについて
問 メンテナンスの進

行速度をもう少しアップセルを踏み込めないか。

答 もう少しアクセルを踏んでやっていく。

電話交換について
問 現在の電話対応から、コンピュータ対応にならないか。合わせ

て保留音を赤磐市の歌にできないか。

答 今年度が契約更新の時期であり、保留音の件も含め、代表電話の満足度向上に努める。

農業支援について
問 今まで農業へ興味のなかった年代に、きつかけの一つとして、シルバー人材センターの弾力的運用もしくは、グリーン人材センターの立ち上げは。

答 弾力的運用や、労働力の確保など細やかな支援は非常に有効である。

コメ不足のニュー
問 コメ不足のニュー

スなど農業に対する機運が高まっている今の時期を逃さず、取り組んでは。

機を逃さずに取り
答 機を逃さずに取り

組む。シルバー人材センターとも調整し、検討、研究を重ねる。

水道工
問 水道工

インフラ整備（水道工事中）



桜が丘いきいき交流センターの読書・学習コーナー



インフラ整備（水道工事中）



議員 明義徳治

子育て世代に「コメのクーポン券」を



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 コメ価格の高騰が続く中、子育て世代に「コメのクーポン券」を配る施策が必要では。

答 子育て支援のアイデアとして検討する。

問 ①農業機械更新問題の課題解決の取り組みは。②農福連携の取り組みは。③スマート農業の取り組みは。④小規模農家支援のため、農作物の集配システムの導入は。

答 ①農業機械のレンタルやリースなどができる組織を立ち上げる。②農業を通じて自立的な活動環境を提供する。③担い手不足、高齢化等を考慮すればスマート農業の普及は急務である。施策を検討する。④さまざまな課題もあるが検討を進める。

問 赤磐市は農業の環

境が整っている。県に働きかけ産官学で連携し、スマート農業を核とした岡山県の一大拠点を目指すべきでは。

答 そういふ仕組みづくりを検討していく。

防災・減災対策

問 命を守る赤磐版防災アプリの導入は。

答 防災情報の発信手段として事業を進める。

問 防災・減災に直結する地区別ハザードマップの推進は。

答 自主防災組織への補助金を引き上げるなど地域防災力の強化に努める中で推進している。現在、13地区が作成している。

ホテル誘致

問 企業誘致、観光振興、地域経済の活性化、

市民の利便性向上などの観点からホテルは必要不可欠である。

答 ホテル誘致のコンセプトは十分把握している。また、スポーツ関係でも宿泊施設が求められている。宿泊施設奨励金のPRなど務めているが、今以上に力強い推進が必要である。

米 お米券

コメのクーポン券

問 赤磐市のこれまでの農業政策について、成果は出ているか。農業は、市の主たる産業とされているが、具体的な農業政策がほしい。現状の農業をどのように把握し、取り組んでいくのか。

答 赤磐市農業振興基本計画により、各農業施策を推進し、地域農業の振興と担い手の育成、農地の集積及び集約に取り組んできた。農業従事者の高齢化や後継者不足、農業機械の更新問題、耕作放棄地の増加問題への対応が求められている。今後は、現在取り組んでいる各種施策に加え、多様な組織が一体となって農業者支援ができる組織を立ち上げ、地域の実情に沿った各種施策を実施し、農業後継者の育成、スマート農業の推進等の持続可能で活力ある農業を推進していきたい。

問 第2次総合計画の中に農業は基幹産業でその主たる耕作物は、朝日米、雄町米、マスカット、清水白桃と掲げている。民間の農業用地は、田が2527ha、畑が783haとある。それに関わっている人の数は2万552人となっている。209人ある赤磐市の面積のおよそ19%が農地だ。担当課は農林課だけでは難しく、責任もつてやる組織がある。農業に関係する皆さんが何を求めているか把握し、今のままでダメなものはどう直していくか実際に何をやるか取り組んでもらいたい。

答 これまで農業振興施策はさまざまなやってきている。どういう成果があったか、一つ一つは言えないが一定の成果はあったと思う。

問 果樹農家の後継者をいかに育てるか、育成のための補助などもっと考えてほしい。

答 今までの農業政策を再度見直す必要があると思う。

桃農家の後継者へのインタビュー

6月定例会のあらまし

委員会のいっぴん

いっぴん質問

その他協議会等



議員 則文金谷

「赤磐市の農業政策について」



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 赤磐市のこれまでの農業政策について、成果は出ているか。農業は、市の主たる産業とされているが、具体的な農業政策がほしい。現状の農業をどのように把握し、取り組んでいくのか。

答 赤磐市農業振興基本計画により、各農業施策を推進し、地域農業の振興と担い手の育成、農地の集積及び集約に取り組んできた。農業従事者の高齢化や後継者不足、農業機械の更新問題、耕作放棄地の増加問題への対応が求められている。今後は、現在取り組んでいる各種施策に加え、多様な組織が一体となって農業者支援ができる組織を立ち上げ、地域の実情に沿った各種施策を実施し、農業後継者の育成、スマート農業の推進等の持続可能で活力ある農業を推進していきたい。

問 第2次総合計画の中に農業は基幹産業でその主たる耕作物は、朝日米、雄町米、マスカット、清水白桃と掲げている。民間の農業用地は、田が2527ha、畑が783haとある。それに関わっている人の数は2万552人となっている。209人ある赤磐市の面積のおよそ19%が農地だ。担当課は農林課だけでは難しく、責任もつてやる組織がある。農業に関係する皆さんが何を求めているか把握し、今のままでダメなものはどう直していくか実際に何をやるか取り組んでもらいたい。

答 これまで農業振興施策はさまざまなやってきている。どういう成果があったか、一つ一つは言えないが一定の成果はあったと思う。

問 果樹農家の後継者をいかに育てるか、育成のための補助などもっと考えてほしい。

答 今までの農業政策を再度見直す必要があると思う。

桃農家の後継者へのインタビュー

6月定例会のあらまし

委員会のいっぴん

いっぴん質問

その他協議会等



桃農家の後継者へのインタビュー



中田浩二議員

吉井地域には 多くの課題が山積みである



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

市長の地域振興への基本姿勢について

問 現在、市の中心部以外は過疎化が進行し、地域の活性化が急務である。市長は市民ファーストを掲げて市政を運営するとのことだが、中山間地域である吉井地域の振興についてどのようなビジョンを持っているのか。

答 豊かな自然や美しい農村景観、地域の特産ある農産物や多様なスポーツ・レクリエーション施設等の地域資源を最大限に生かしていきたい。地域の雇用の場を確保することで、関係人口の創出を図り、地域コミュニティの維持、活性化を目指す。

地域交通、移動手段の確保について

問 地域交通の確保は市民の生活にとって非常に重要な課題である。特に交通弱者とされる高齢者や障害者が医療機関や商業施設へのアクセスを確保するため、どのような取り組みが必要と考えるのか。

答 吉井地域では、平成24年度からデマンド交通を導入している。今年度から周回線を運行エリアとして拡充し、AIシステムを導入し効率のよい運行を進めている。引き続き利用者の意見を参考にダイヤの見直し等を行う。

農地と地域資源の活用について

問 地域の過疎化が進



赤磐市広域路線バス

む中で農業の担い手不足のため、農地の管理が行われない結果、田畑が荒れ果てている。農地と地域資源の活用について聞きたい。

答 耕作放棄地や荒廃地の問題は非常に重要な問題と認識している。特に中山間地域での農地の有効利用を進めていきたい。今後、農地を有効に活用できる施策を検討する。



原田素代議員

職員の人格が守られない 赤磐市では困る



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

識している。

問 令和4年5月に「ハラスメント審査会」が終了書を提出している。市長は読んだのか。

答 特定の案件には答えない。

問 ハラスメント審査会の調査委員会は「被害の申告者は職員10名であり、行為者は園児の前で大声で怒鳴ったり、不合理な対応をした」という証言である。加えて申告された事象は50を超える異常な数である。少なくともハラスメントと認定されうる行動を多数行っていたと言わざるを得ない。全く心あたりがないという行為者の供述は不合理と言わざるを得ず、信用できない。

答 審査会は公正中立な立場で審査し、適切に対応できていると認識している。

問 被害の申し出があつてから2年間も職員たちは結果を待たされた揚げ句、行為者は体調不良を理由に調査協力できないと回答ができている。さらに行為者はその後退職し、調査不可能となった。2年間待たされた職員の気持ちを考えるべきだ。

答 一般論としては、所属長等が相談窓口に応じ出るよう指導し、対応する。

検討する。

公共交通の仕組みは、顔の見える地域ごとに進めるべき

問 市民には移動手段のシステムが分かりにくい。改善するには顔の見える地域ごとの取り組み、多機能自治を作るには、市の予算が必要である。

答 財政面など難しい。



デマンド型市民バス



保田 守議員

山陽団地内の バス停の改良を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 山陽団地内のバス停の縁石が高く、20センチ以上になると高齢者は足が引っかけたり危険だ。改良が必要だ。

答 山陽団地は50年以上前の基準で整備されているため、既存インフラが対応できない状況になっている。現地確認を行い、使いやすいうバス停となるよう改善案を計画していると。今後民間バス事業との調整により、改善方法を決定し利用者の不便を解消していきたい。

隣家から越境してきた木の枝について

問 隣家の木が大きくなり雨どいが詰まる、屋根が壊れるなど問題が起きている。行政として対応できないか。

答 民事の問題であり市としては直接介入することはできない。しかしながら令和5年の民法改正により、竹木の所有者に越境した枝を切除してもらうのが原則であるという点は変わりないが、所有者に枝を切除するよう催促したにもかかわらず相当の期間内に切除しない場合など、条件を満たす場合には越境された土地の所有者自らが枝を切ることが可能となっている。留意点を事前に市の無料法律相談などで法律の専門家に相談してもらいたい。

高齢者の熱中症対策を

問 高齢者の熱中症対策として75歳以上の人に飲料水を配ってはどうか。その時に体調を聞いて注意事項など伝えて予防対策を図るべきではないか。

答 75歳以上の人への飲料水配布については、その方法・規模や予算などの課題もあるので、まずはしっかりと啓発を行っていきたいと考えている。



小学校横のバス停

産業建設常任委員会 視察研修



産業建設常任委員会は6月12日に1カ所の視察を行った。

6月12日

ナカシマホールディングスのグループ会社

ナカシマホールディングス株式会社の中島社長より、赤磐市への進出の希望があり、早急に進出の手はずが整うことを希望されている。次にグループ会社の小林氏、中村氏より、本社機能を含め、工場進出希望があり、計画についてプレゼンを受け、その後工場内を見学視察した。

ようこそ赤磐市へ

令和7年4月17日に、岡山県議会交通政策推進議員連盟が「AIデマンド型市民バス『のるーとあかいわ』の概要について」の調査のため視察に訪れました。



議会全員協議会

主な協議・報告事項

4月24日

- ・赤磐市監査委員について
- ・各常任委員会の委員の選任及び委員長、副委員長の互選について
- ・議会運営委員会の委員の選任及び委員長、副委員長の互選について
- ・広報広聴委員会の委員の選任について
- ・一部事務組合議会議員の選挙について
- ・各種委員会委員の選出について
- ・議会ICT推進委員会の委員の選任及び正副委員長の互選について

4月24日

- ・委員会、副委員長の互選について

4月24日

- ・委員会、副委員長の互選について

議会改革検討委員会

主な協議・報告事項

議会ICT推進委員会

主な協議・報告事項

広報広聴委員会

主な協議・報告事項

4月24日

- ・委員長、副委員長の互選について

6月11日

- ・広報部会及び広聴部会の部会委員の選任について
- ・赤磐市議会報告会について

まちづくり調査特別委員会

主な協議・報告事項

6月27日

- ・委員長、副委員長の互選について

編集後記

議会の終わりにには6月議会の始まりとともに、田植えの時期を迎え、秋には豊作の便りを聞きたいものです。

さて、今議会の一般質問は前田市長のデビュー戦で、丁寧な答弁を心がけているようでした。一例をあげますと、自分の言葉で自分の思いを語っていました。我々議員も改めて背筋を伸ばし、真摯に向き合っていきたいものです。

広報の編集に4人の新人議員を迎え、編集作業を進めています。議事録からポイントとなる内容を拾い出し、文章にまとめているいきます。新たな切り口での編集になるよう期待しています。いつも心がけていることですが、見やすい、分かりやすい議会だよりにしていきたいと思っています。スマートフォンやタブレットなどで見やすいよう、横書きの検討もしていこうと思っています。

広報広聴委員(広報部会)

- | | |
|------|-------|
| ・部長 | 光成 良充 |
| ・副部長 | 杉野 千秋 |
| ・委員 | 大口 浩志 |
| ・委員 | 中田 浩二 |
| ・委員 | 行本 大輔 |
| ・委員 | 横山 裕太 |